



## 地域活動支援センター(II型)秋季遠方外出!



写真教室や第2弾となる市内散策の様子をご紹介します!!

### 市内散策 10月29日

地元にながら、なかなかいけない名所や地元十日町の秋の味覚、新蕎麦を味わい皆さん大喜びでした。



#### 小嶋屋そば総本店

利用者の皆さんからお出かけた時くらいは美味しいものを食べたいと言う声があり。

#### 高柳じよんのび村

じよんのび村ではフォトフレーム作りに挑戦!!木の实などを使ったフォトフレーム。それぞれの個性が光りました。思い出の写真を入れて下さいね。



### 湯沢方面(写真教室) 10月11日

湯沢高原ロープウェイで紅葉の名所アルプの里に行き、紅葉の山々を観賞し高原の秋を満喫して来ました。



#### アルプの里

天気も良く絶景ポイントで記念撮影。その後は足湯に浸る人も。

昼食は塩沢の雁木屋さん。お店のご好意により貸切でゆっくりと過ごすことができました。

#### 牧之通り

昼食後は牧之通りを散策昔の町並みを再現しており撮影会など、思い思いに過ごし・・・



### ふれあいクラブ 長岡・国営越後丘陵公園(里山フィールドミュージアム) 10月13日

里山の風景や古民家を見学し、実りの秋や昔懐かしい日本の良さを体感する事が出来ました。



#### 里山の古民家

昔の道具や昔の遊びが展示してあり、懐かしさに見入ってしまう場面も。天気が良く縁側での日向ぼっこが最高でした。



昼食には、芝生の上にブルーシートを敷いて皆さん輪になり美味しいお弁当をいただきました。



ボールを持参し、職員と皆さんとでバレーボール。声を出しながら楽しくプレー!!ブルーシートの上でお昼寝の人もいましたが・・・職員にも良い運動になりました。

当センター利用者の皆さんは、お出かけを大変楽しみにしています。職員一同これからも色々な企画に挑戦したいと思います。



# 平成 25 年度 全国・県主催の美術展

当センターでは、施設利用者の創作活動を通じた社会・文化活動への参加を積極的に行なっています。各種創作品の美術展出展を励みに、一生懸命制作に取り組み今年度も多数の皆さん受賞されました。おめでとうございます！！



## 第 32 回 肢体不自由児・者の美術展



- \*主催：社会福祉法人日本肢体不自由児協会 都道府県肢体不自由児協会
- \*趣旨：全国の肢体不自由児・者から美術作品を応募し、12月の障がい者週間に時期を合わせて展示会を開催。肢体不自由児・者の生きがいに資するとともに、一般の人々の障がい者に対する理解を促進することを目的としています。

### <当センターの応募>

書道 3点  
 絵画 6点  
 デジタル写真 7点

結果	絵画部門	佳作賞	「清流」	竹内ハル
		努力賞	「かわいい花」	中島光子
	書道部門	佳作賞	「五言絶句(漢詩)」	村山宏

## 第 12 回 新潟県障害者芸術文化祭

- \*主催：新潟県 新潟県障害者芸術文化祭実行委員会
- \*趣旨：障害のある方の芸術文化活動の振興を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進し、生活を豊かにすることを目的として開催します。

### <センターの応募>

書道 6点  
 絵画 8点  
 手芸 9点  
 デジタル写真 4点  
 自由詩 1点  
 工芸 1点  
 ステージ発表 1点

結果	書道部門	県知事賞	「五言絶句(漢詩)」	大倉達男
		実行委員長賞	「一茶の句」	江村克己
		審査員特別賞	「五言絶句(漢詩)」	村山宏
	工芸部門	実行委員長賞	「頑張れ！十日町」パッチワークの鯉のぼり センター利用者による共同創作	



「頑張れ！十日町」

### 工芸部門で実行委員長賞に輝いた「頑張れ！十日町」パッチワークの鯉のぼり

当センター利用者の皆さんによる共同創作「頑張れ！十日町」パッチワークの鯉のぼりが、なんと！！**実行委員長**を受賞しました。着物生地の端切れで一針一針心を込めた手縫いの鯉のぼりで、十日町がもっと元気になる様に願いを込めた作品です。全長4メートルの大作になりました。



### 書道部門から県知事賞！！

毎回、素晴らしい成績を収めてきた利用者の皆さんですが今年度の書道部門は当センターで三賞独占の快挙です。中でも、センター初となる**県知事賞**を大倉達男さんが受賞されました。優れた功績は日頃の努力によるもので、誠におめでとうございます。



県知事賞 大倉達男さんの書道です



### 11月24日の芸術音楽祭にも参加

視覚障がい者の池田幸子さんが、センター代表でシューベルトの「子守り唄」と松任谷由美の「ルージュの伝言」をピアノで演奏。困難に負けず何事にも挑戦する姿に感動し涙・涙の職員もいたようです。努力の積み重ねによる素的な音色は満場拍手に表れていました。

# 障がい者福祉制度のお知らせ

平成26年4月1日から

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」において平成26年4月1日から施行される内容についてお知らせします。

## 1 障害支援区分の創設

「障害程度区分」について、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示す「障害支援区分」に改める。

\* 障害支援区分の認定が知的障がい者・精神障がい者の特性に応じて行なわれるよう、区分の制定に当たっては適切な配慮等を行なう。

## 2 障がい者に対する支援の拡充

- ① 重度訪問介護の対象拡大
- ② 共同生活介護の共同生活援助への一元化
- ③ 地域移行支援の対象拡大



# センター利用団体のご紹介

身障センターでは、センター条例に基づいて地域の様々な団体の場としてご利用いただいています。今回は塚原町町内会様を紹介いたします。

## 塚原町町内会様

塚原町町内会長 春日 貴宏

塚原町は平成25年12月現在54世帯あります。

また、今年から塚原町自主防災組織を発足し10月27日に、十日町市身体障がい者福祉センターにて、第一回防災訓練を行い沢山の方から参加して頂きました。地震、水害等災害はいつ起こるかどの様な規模なのか分かりませんが、地域近隣で協力し合い普段から防災意識を高めていく事が必要と考えます。

また現在、歩道設置工事も始まりましたが完成に至っておりません。塚原町には保育園児や小中学生の子供が多く、出来るだけ早く安全に登下校が出来る環境を整えられればと思います。



10月27日  
防災訓練の様です。



## 身体障がい者福祉センターを利用しませんか！

- <サービスの内容> \* 創作活動・教養娯楽活動・機能訓練・社会適応訓練・入浴・送迎
- \* 日中一時支援
- <対象者> 各種障がい者手帳の交付を受けた、18歳以上の方

お問い合わせ：十日町市身体障がい者福祉センター 〒948-0054 新潟県十日町市高山 884 番地 4

電話：025-757-9438 FAX：025-750-1173

E-mail:tumari.nikkori@ec3.technoave.ne.jp



# これまでのセンターの活動

## 5月の活動

### \*センターの屋上に鯉のぼりを揚げる

季節行事に参加を目的としてセンターの屋上に鯉のぼりを揚げました。各曜日で記念写真を撮り、こいのぼりの歌を歌ったりと、屋上に悠々とおよぐ鯉のぼりや空を眺め春の風を肌で感じました。



### \*十日町市緑のカーテンコンテストに参加

残念ながら入賞には至りませんでしたがアサガオ・ゴーヤ・フーセンカズラに朝晩水をやり、見事な緑のカーテンに。

「緑のカーテン」



## 7月からの活動

### \*「パッチワークの鯉のぼり」創作開始

11月24日の新潟県障害者芸術文化祭に向け当センター利用者の皆さんが団結し、鱗を一針一針縫いました。創作期間は4ヶ月。その結果、実行委員長賞に！！

## 8月の活動

「タバコのロボット兵」

### \*「タバコの空箱を使ったロボット」

タバコの空箱と言う事で火災予防や健康被害に貢献できないかと考え企画。道路に面しているため、地域の方へのアピールにもなったかと思えます。

## 10月の活動

### \*芋掘り

センターの畑にさつま芋の苗を植え、10月初めに芋掘り開始。各曜日の利用者さんからお手伝いいただき、さつま芋を掘る人と洗う人とに分かれ共同作業を行いました。



思ったより芋が大きいね



# 利用者交流会

平成25年12月13日、利用者の交流を目的として「利用者交流会」を開催しました。今回、演芸ボランティアとして「七和グループ」様の大正琴や、「水沢小学校4年生」様と「水沢伝統芸能保存会」様のご協力で、石場かち・からす踊り・天神囃子の伝統芸能を披露していただきました。

大正琴では、「ふるさと」などの美しい音色と利用者皆さんの歌声がセンター内に響き渡り素晴らしいコラボレーションに……。水沢小学校児童様による伝統芸能では、男子児童の元気な掛け声や女子児童の華麗な踊りに、利用者さんの中には涙ぐむ方もいたようです。

そして、第2回目となるカラオケ大会も開催され、前回よりも採点方法の難易度が上がったにも係らず、利用者の皆さんは次々と高得点を出していました。表彰式では、得点上位3名と特別賞2名が表彰され、盛り沢山の楽しい一日を過ごしました。



七和グループの皆さんです



水沢小の皆さんです